



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月14日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イナリサーチ
コード番号 2176 URL <http://www.ina-research.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川賢司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 野竹文彦

TEL 0265-73-6647

四半期報告書提出予定日 平成27年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	278	△50.9	△231	—	△237	—	△172	—
27年3月期第1四半期	567	14.7	△32	—	△36	—	△28	—

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 △170百万円 (—%) 27年3月期第1四半期 △25百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	△57.50	—
27年3月期第1四半期	△9.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第1四半期	3,708	1,645	42.5	525.23
27年3月期	4,061	1,824	43.2	585.15

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 1,575百万円 27年3月期 1,754百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	0.00	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	864	△26.8	△98	—	△110	—	△60	—	△20.18
通期	2,230	△25.5	42	△11.0	13	△58.6	7	△7.0	2.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

詳細は、3ページ「2. サマリー情報(注記事項に関する事項)(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	2,998,800 株	27年3月期	2,998,800 株
28年3月期1Q	— 株	27年3月期	— 株
28年3月期1Q	2,998,800 株	27年3月期1Q	2,998,800 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが主力事業とする非臨床試験市場では、後発薬の普及や薬価改訂などの影響を受けた大手製薬企業でパイプラインの絞り込みと委託費用の圧縮が継続しており、厳しい経営環境が継続しています。

このような状況の中、当社グループはMHC統御動物並びに再生医療に関するアカデミアとの共同研究を継続して進めることで将来に繋げるとともに、顧客ニーズに応えるべく品質の向上と新たな試験技術の習得を目指して、研究開発活動に積極的に取り組みました。殊に、新たな動物種による毒性試験や、今後の開発が期待される核酸医薬品試験及び微量採血・超高感度定量法確立等の実績を重ねております。また、ボトルネック工程の機械化を実施したことで納期短縮が可能となりました。新規事業として、当該機器及びノウハウの販売も検討しております。加えて、米国食品医薬品局(FDA)への新薬申請に必須となる非臨床試験データ標準フォーマット(SEND:Standard for Exchange of Nonclinical Data)への対応では、情報の収集と社内準備を確立するとともに、専任部署による製薬会社への情報提示を活発に展開した結果、試験の受注増強につながっております。なお、コスト削減は継続して実施しておりますが、更なる取り組み強化を図っております。

このように取り組んでまいりましたが、主力の非臨床試験におきましては、前年の委託者の開発都合による大型試験の受注延期と受注低迷による受注残高の減少等から、当第1四半期連結累計期間は稼働率の低下によって、売上・利益ともに前年同四半期と比べ著しく低下いたしました。なお、前期に受注遅延となった大型試験については、当期での受注及び試験開始が予約されています。また、営業に精通した専門顧問の招聘と営業部員の増強を実施し、社長先導のもと営業体制の再構築を進めております。受注は徐々に回復しつつあることから、今後は回復の速度を上げるべく社内の営業経験者を動員するなど、更に活動量を増加いたします。

臨床試験におきましては、長期の心電図解析試験を実施中であり、当該試験は当連結会計年度の売上を予定しています。

環境事業では、非臨床施設設計ノウハウの蓄積が評価され、製薬会社の研究施設内での改修工事の請負が増加しており、現在実施中の案件に加えて、新規受注を獲得することを見込んでいます。また、スクラパー保守においては、安定した固定顧客を確保しております。最近では、微酸性電解水生成装置がノロウイルスやインフルエンザに効果を発揮しながらも人体に対して安全であることが認識され、歯科医院を中心に売上を伸ばしております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は278,392千円(前年同四半期比50.9%減)、営業損失は231,240千円(前年同四半期は営業損失32,022千円)、経常損失は237,972千円(前年同四半期は経常損失36,844千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は172,460千円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失28,806千円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当事業部門におきましては、前期末の受注残高が減少したために当連結累計期間に終了する試験が少なく、稼働率も低迷した結果、売上高は234,089千円(前年同四半期比54.1%減)、営業損失は217,971千円(前年同四半期は営業損失28,037千円)となりました。

② 臨床試験

当事業部門におきましては、心電図解析試験が計画どおり実施されております。売上高は38,105千円(前年同四半期比0.6%増)、営業損失は2,384千円(前年同四半期は営業利益1,502千円)となりました。

③ 環境

売上高は6,197千円(前年同四半期比68.1%減)、営業損失は10,884千円(前年同四半期は営業損失5,487千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は3,708,230千円となり、前連結会計年度末と比べ353,321千円減少しました。本減少は主に、売掛金の回収に伴う受取手形及び売掛金の減少によるものであります。

負債の部の残高は2,062,467千円となり、前連結会計年度末と比べ174,251千円減少しました。本減少は主に、短期借入金の返済によるものであります。

純資産の部の残高は1,645,762千円となり、前連結会計年度末と比べ179,069千円減少しました。本減少は主に、利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年5月15日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を当第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	498,623	379,728
受取手形及び売掛金	564,560	176,266
商品及び製品	2,767	2,852
仕掛品	219,724	355,459
原材料及び貯蔵品	200,691	197,730
その他	181,277	190,525
貸倒引当金	△207	△209
流動資産合計	1,667,438	1,302,353
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,597,402	3,602,171
減価償却累計額	△2,280,797	△2,307,269
建物及び構築物 (純額)	1,316,604	1,294,901
土地	810,197	810,388
その他	1,071,293	1,065,637
減価償却累計額	△886,172	△894,212
その他 (純額)	185,120	171,425
有形固定資産合計	2,311,922	2,276,714
無形固定資産	21,764	16,554
投資その他の資産		
その他	60,138	112,715
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	59,238	111,815
固定資産合計	2,392,924	2,405,084
繰延資産	1,188	792
資産合計	4,061,551	3,708,230
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	273,050	256,782
短期借入金	575,001	150,002
1年内返済予定の長期借入金	175,592	219,068
未払法人税等	6,376	2,487
前受金	234,492	381,729
賞与引当金	24,297	—
その他	296,399	205,673
流動負債合計	1,585,210	1,215,743

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
固定負債		
長期借入金	492,683	698,040
退職給付に係る負債	6,524	6,756
その他	152,301	141,927
固定負債合計	651,508	846,723
負債合計	2,236,718	2,062,467
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,940	684,940
資本剰余金	600,940	600,940
利益剰余金	465,793	284,336
株主資本合計	1,751,673	1,570,216
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	6,243	7,947
退職給付に係る調整累計額	△3,165	△3,101
その他の包括利益累計額合計	3,077	4,845
非支配株主持分	70,081	70,700
純資産合計	1,824,832	1,645,762
負債純資産合計	4,061,551	3,708,230

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	567,415	278,392
売上原価	459,077	329,577
売上総利益又は売上総損失(△)	108,338	△51,185
販売費及び一般管理費	140,360	180,055
営業損失(△)	△32,022	△231,240
営業外収益		
受取賃貸料	2,155	2,077
為替差益	—	120
その他	2,198	473
営業外収益合計	4,354	2,671
営業外費用		
支払利息	7,872	8,830
為替差損	49	—
その他	1,254	573
営業外費用合計	9,176	9,403
経常損失(△)	△36,844	△237,972
税金等調整前四半期純損失(△)	△36,844	△237,972
法人税、住民税及び事業税	2,520	1,894
法人税等調整額	△10,616	△67,508
法人税等合計	△8,096	△65,613
四半期純損失(△)	△28,748	△172,358
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	101
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△28,806	△172,460

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純損失(△)	△28,748	△172,358
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	3,336	2,221
退職給付に係る調整額	38	63
その他の包括利益合計	3,374	2,285
四半期包括利益	△25,373	△170,073
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,208	△170,692
非支配株主に係る四半期包括利益	834	618

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	510,105	37,865	19,444	567,415
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	510,105	37,865	19,444	567,415
セグメント利益 又は損失(△)	△28,037	1,502	△5,487	△32,022

(注)セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計(注)
売上高				
外部顧客への売上高	234,089	38,105	6,197	278,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	234,089	38,105	6,197	278,392
セグメント損失 (△)	△217,971	△2,384	△10,884	△231,240

(注)セグメント損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。